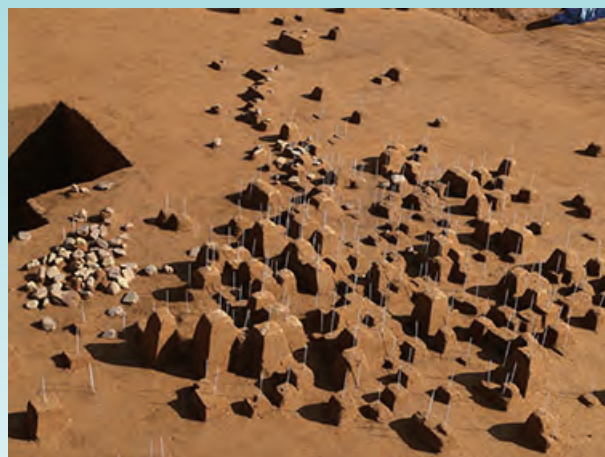




1.中央部 B1層上面 石器群



2. F7区 B1層下部～L2層上部 礫群・石器集中部



3. E7区 B1層下部～L2層上部 礫群



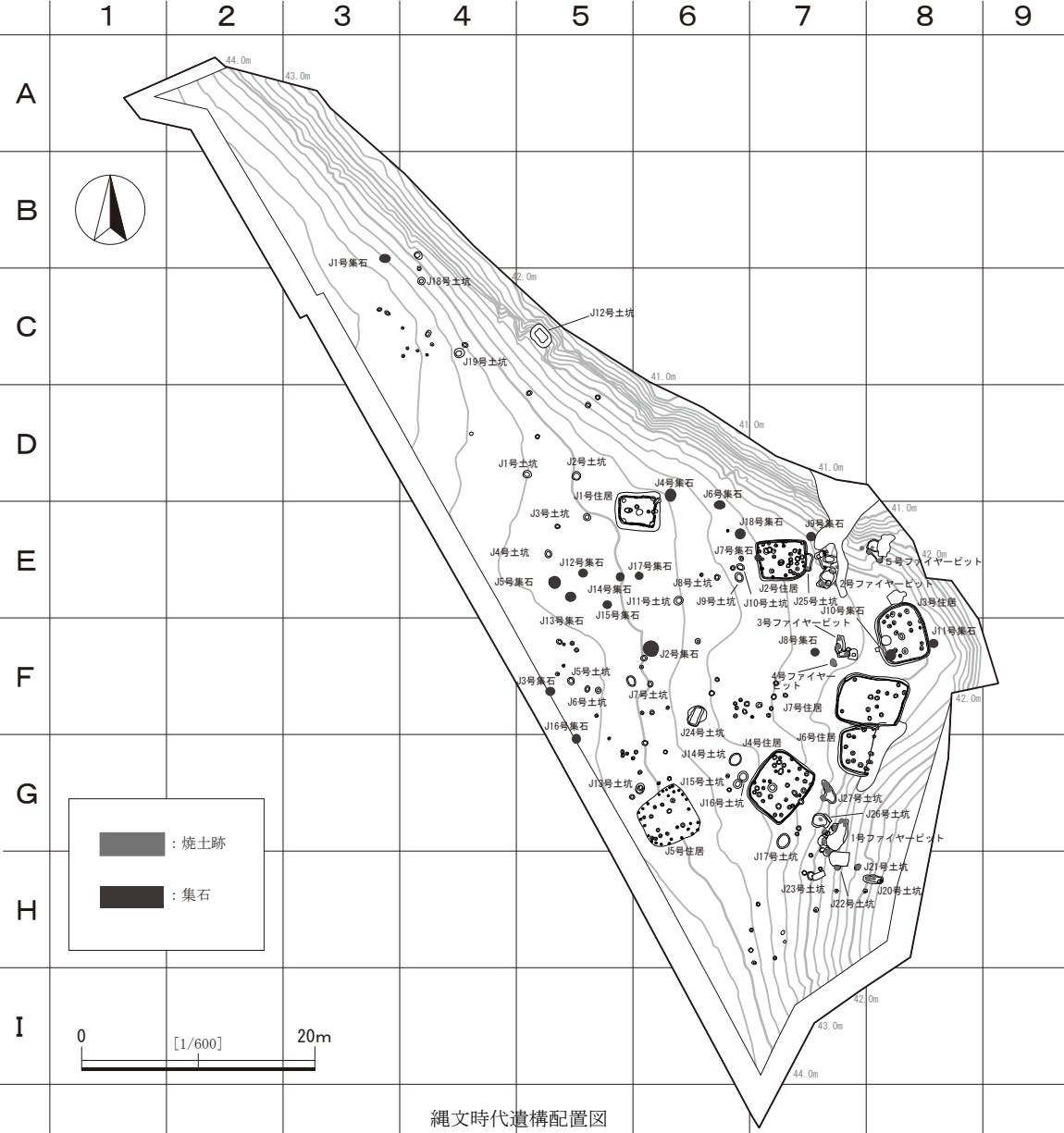
4. L2層下部 石囲い炉

●主な調査成果

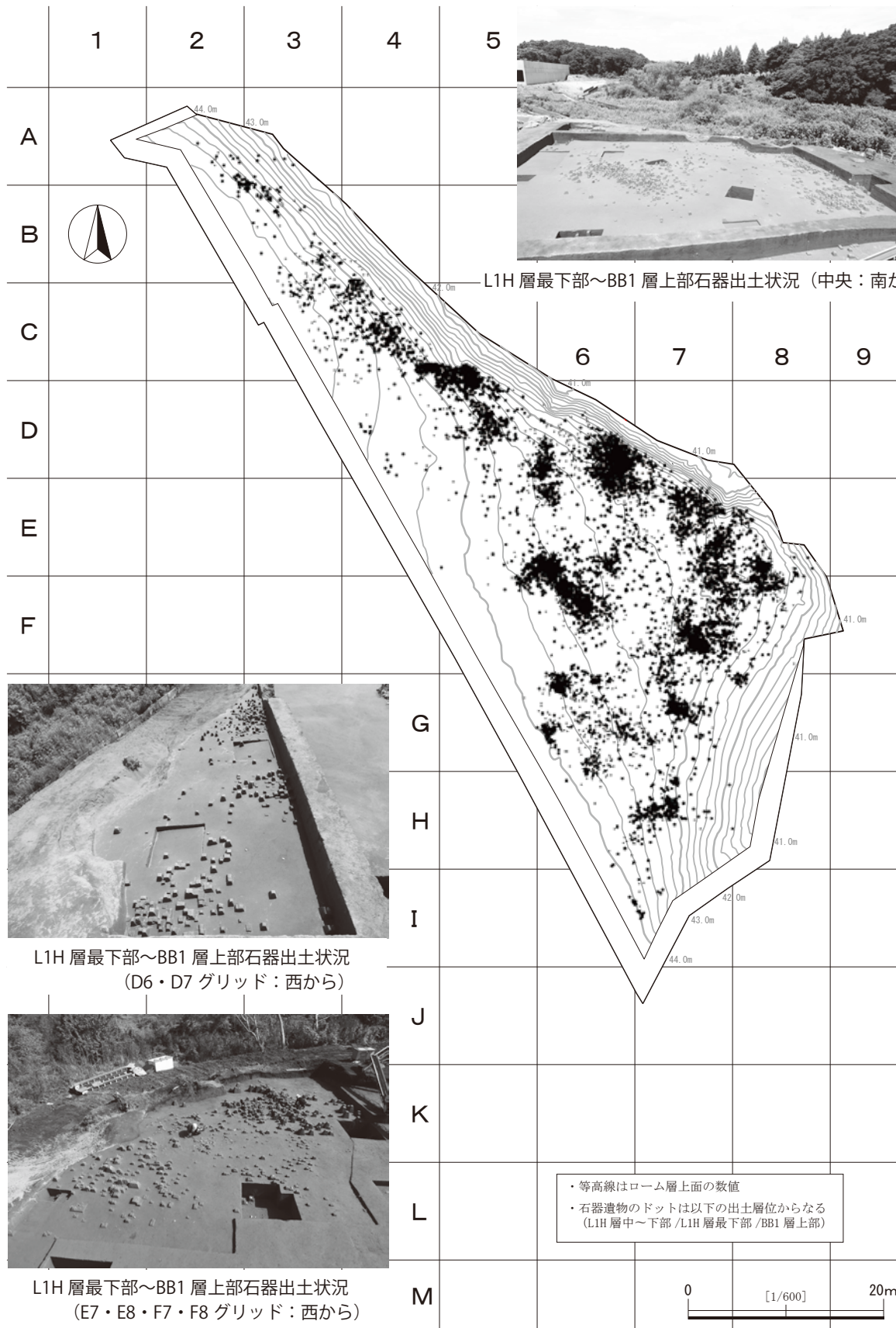
最終氷期に形成された後期旧石器時代後半の遺跡です。遺跡が立地する段丘部分の台地全面に相当する 2377 m²を発掘調査しました。関東ローム層の中から 6 時期に及ぶ石器群が見つっています。それぞれの時期の石器群には、石器製作跡や礫群が伴っていました。黒曜石や安山岩、凝灰岩の原石を遺跡に持ち込んで、ナイフ形石器や尖頭器などの石器を製作したようです。また、礫群は石蒸し調理に用いられたと考えられているもので、台地の中央から縁辺部にかけて多数認められました。当時の人々によって長期わたり継続的に利用され続けた拠点的な野营地であったと考えられます。

- 調査期間 2022年4月1日～2023年3月31日
- 事業者 南関東防衛局
- 調査原因 厚木海軍飛行場内雨水対策整備土木その他工事に伴う埋蔵文化財発掘調査
- 時代 縄文、旧石器
- 所在地 綾瀬市（厚木海軍飛行場内）
- 遺跡位置 相模野台地中央を南流する蓼川の右岸に形成された段丘上に立地





縄文時代遺構配置図



L1H層最下部～BB1層上部石器出土状況（中央：南から）

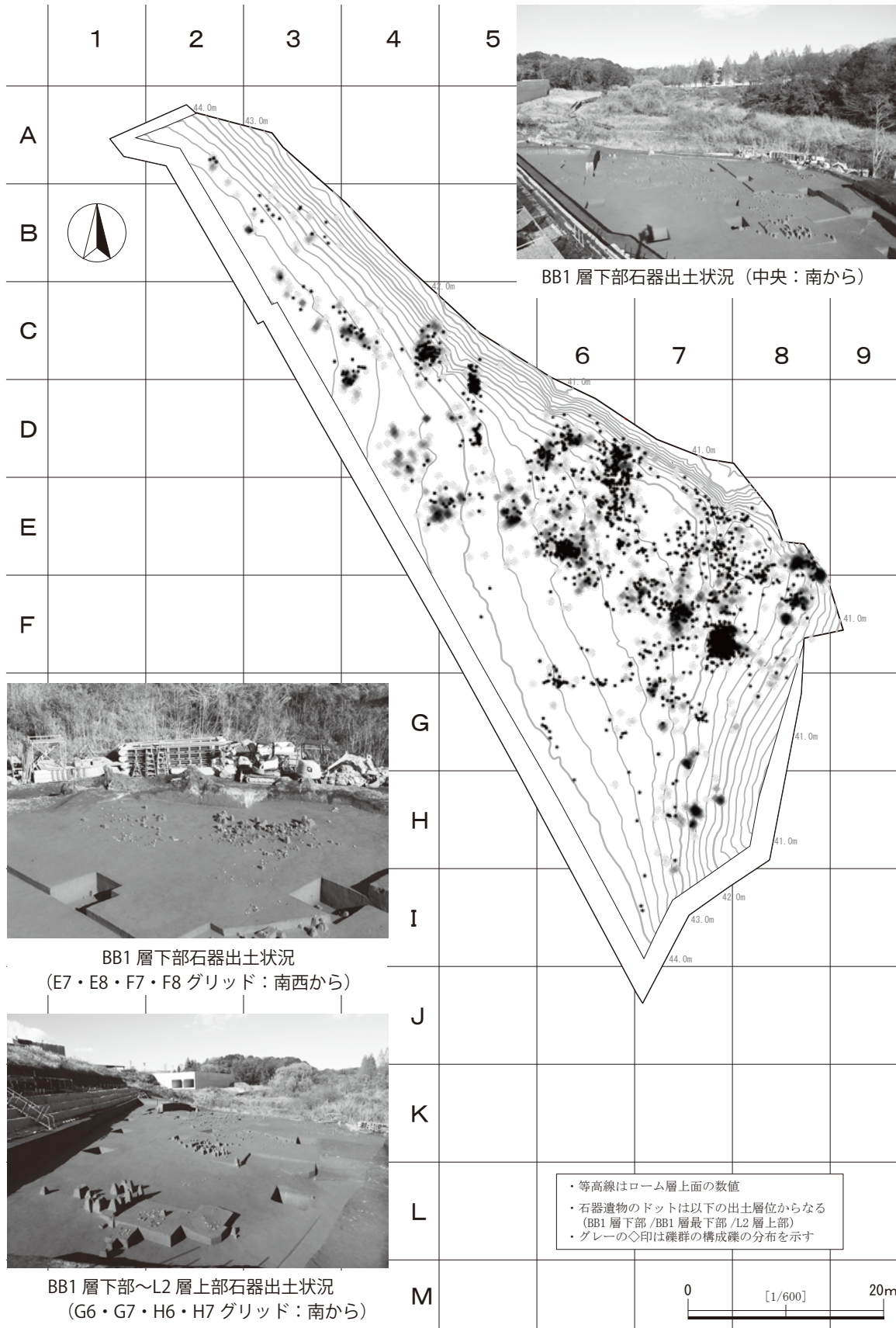
L1H層最下部～BB1層上部石器出土状況
（D6・D7グリッド：西から）

L1H層最下部～BB1層上部石器出土状況
（E7・E8・F7・F8グリッド：西から）

・等高線はローム層上面の数値
 ・石器遺物のドットは以下の出土層位からなる
 （L1H層中～下部 / L1H層最下部 / BB1層上部）

0 [1/600] 20m

旧石器時代石器分布図（L1H層最下部～BB1層上部）



旧石器時代石器分布図 (BB1層下部～L2層)

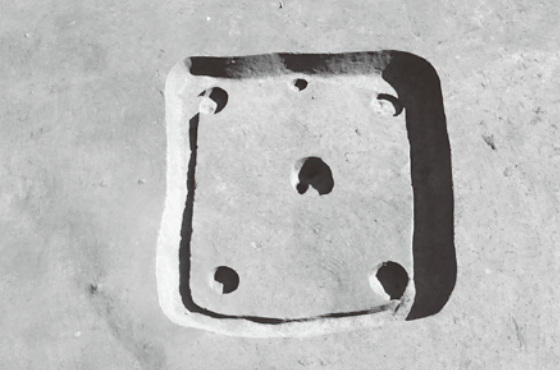


写真1 縄文時代J1 号竪穴住居跡(新)完掘(西から)



写真2 縄文時代J1 号竪穴住居跡(古)完掘(西から)

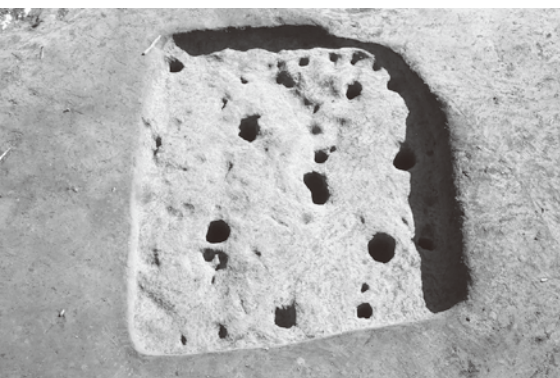


写真3 縄文時代J2 号竪穴住居跡完掘(西から)



写真4 縄文時代J5 号(左)・J13 号集石(西から)



写真5 L1S 層尖頭器出土状況(北西から)

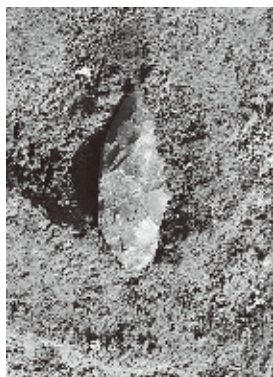


写真6 BB1 層上部尖頭器出土状況(東から)

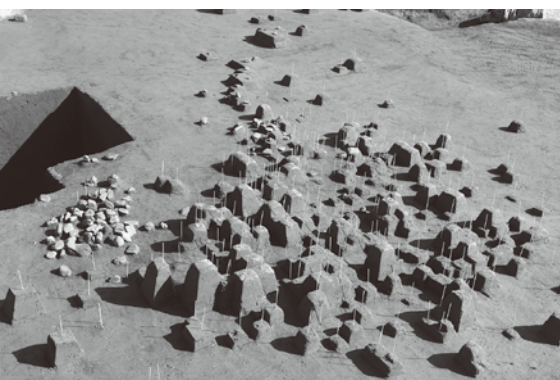


写真7 L2 層上部石器集中(右)・礫群53(左)(南西から)



写真8 L2 層最下部 礫群52(右)・礫群97(左)(北東から)